

**たくさんの人たちと自然の恵みに心から「ありがとう」と言える子を育てましょう！**

本日太陽の部屋にて「感謝の会」を行いました。

「感謝の会」は第4期の主題「感謝をよろこぶ子どもたち」が具体的な体験を通して理解していかれることを願って開かれています。

私たちの暮らしは自分ひとりでは何も出来ません。食べる物だけでなく、洋服やおもちゃ、車や住む家も全て多くの人たちの働きのお陰で生活しています。たくさんの人たちの力があって始めて、喜らしていくことが出来るわけですし、また野菜や果物も太陽や雨や風や雪があってこそ育っていくことが出来る訳です。

野菜や果物、花等どれ一つとっても自然の恩恵と世話してくれるたくさんの人々の手を経て、私たちの手元へ届いています。今、私たちの生活では

食べるものがたくさん出回り過ぎて、日頃はごくあたりまえのように買ったり、食べたりすることが出来ます。

それだけに、物のありがたさや大切さが薄らいできていて、残したり、粗末したりすることが平気になってしまっている人たちがたくさんいます。とても悲しいことです。

これからの子どもたちには物を粗末にしないことの大切さを身に付けていってほしいと願いますし、また自分だけでなく、たくさんの人のお陰で生活していることへの感謝の気持ちもわかってほしいと願います。幼い年齢ですが、育ちの基礎を身に付けていく時期ですので、たくさん善意と感謝の思いの持てる子どもに育てていきたいものです。

家庭でもいつも感謝の気持ちを持ち、生活していかれるよう是非、ていねいな子育てをよろしく願いいたします。

まず大人が我が子に「ありがとう！」「すてきだね！」という気持ちを伝えていくことから始めていきましょう！

子どもは必ず「親の姿を見て真似ていきます」ので！

よろしく願いいたします。

これからはクッキングコーナーそしてランチ時に野菜や果物を感謝して味わっていく予定です。

昨日は手に手に野菜、果物そしてお花をありがとうございました。太陽の部屋の前方と中央にテーブルを用意し、お持ちいただいた野菜や果物、お花をかごや花瓶に入れて、飾りつけた中でちゅうりっぷ組、こすもす組さんをはじめみんなで「感謝の会」を行うことができました。



**太陽の部屋にて**

- 1 うた「感謝」
- 2 こども理事長のお話
- 3 野菜の紹介

うた「おんなじ野菜」にて先生方が農家のお姉さんに扮装しての紹介です。

- 4 果物の紹介

うた「果物列車」にて先生方が果物列車になっての紹介です。

- 5 うた「感謝」

記念撮影